

前立腺がんの診断と治療 update

正確な画像診断（multiparametric MRIにおけるPI-RADS score評価）に加え、MRI画像を超音波診断装置に融合させる**MRI-超音波融合標的前立腺生検術**を2024年4月から導入し、より高い診断精度の向上を実現しています

前立腺がんは2022年男性がん罹患数は第1位
がん死亡数は第6位
(公益財団法人 がん研究振興財団 2024がんの統計より)

50歳からのPSA検査が推奨されています
(日本泌尿器科学会 診療ガイドライン)

PSA基準値	50-64歳 :	3.0ng/ml以上
	65-69歳 :	3.5ng/ml以上
	70歳以上 :	4.0ng/ml以上

診断から治療までの流れ

PSA検査



MRI検査



前立腺生検術

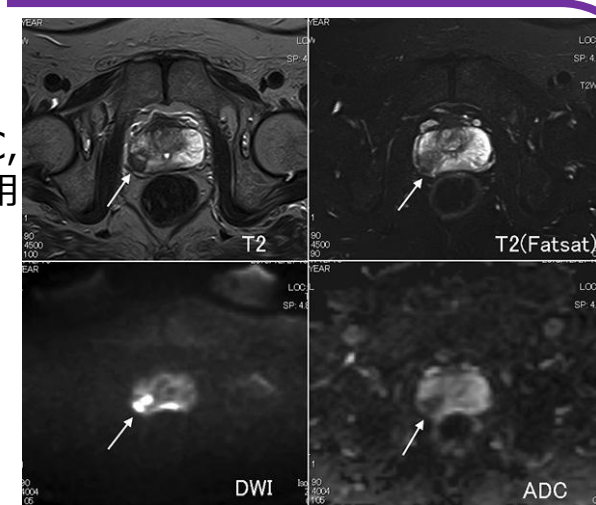


治療

MRI検査

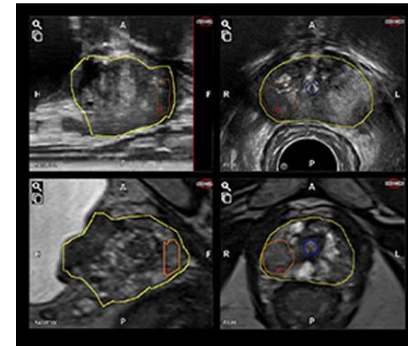
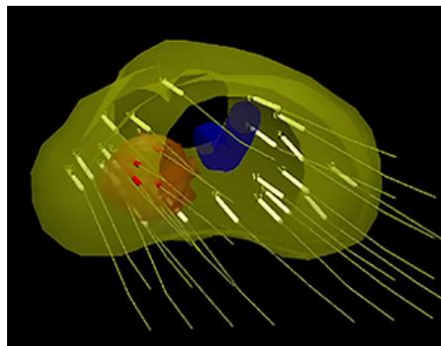
T2強調画像, 拡散強調画像, ADC, 造影効果によるPI-RADS scoreを用い, 評価を行う

右 : T2WI 4, DWI/ADC 4, 造影効果あり
PI-RADS 4 (癌の疑い) 病変



MRI-超音波融合標的前立腺生検術（MRI fusion biopsy）

ARIETTA65 Intuitive Fusion（富士フィルム社）は正確な前立腺生検術をサポートするため開発された超音波画像診断装置です。MRI画像を超音波診断装置に取り込んで、前立腺の動きや変形を自動的に補正した3D立体イメージで表示します。この融合画像を構築することにより、より正確な組織採取が可能となり、前立腺がんの検出精度を向上させます。



ダヴィンチXiによるロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術

Intuitive社da Vinci Xiは高画質で立体的な3Dハイビジョンシステムの手術画像のもと完全に医師の操作によって人間の手の動きを正確に再現する装置です。術者は回転する手首を備えた鉗子を使用し、精緻な手術を行うことが可能です。

MRI fusion biopsyによる局在診断に基づき、積極的に神経温存手術や早期尿禁制をめざしたARVUS（Advanced Reconstruction of Vesicourethral Support），レチウス腔再建を行っています。



前立腺がんの治療については、エビデンスに基づき治療方法を提示し、時間をかけて患者さまの意思に添い、選択決定しています（手術療法、IMRT、重粒子線治療、内分泌療法、PSA監視療法など）